

家計・くらしの調査 年次報告書 2022

2023年8月
日本生活協同組合連合会
政策企画室

もくじ

はじめに	．．．．P	2
1.モニター属性	．．．．P	3
2.収入・支出	．．．．P	4
3.電気・ガスの料金	．．．．P	10
4.消費税しらべ	．．．．P	12
5.モニターの声	．．．．P	13
6.集計表	．．．．P	16
7.調査票	．．．．P	17

はじめに

この調査は1978年「生協の家計簿」発行以来継続してきた「全国生計費調査」の流れを汲みつつ、2018年1月よりインターネットでの回答に限定して調査を実施しています。2022年は調査をインターネット化して5年目の年となります。

2022年の調査では1,000名を超える組合員にモニター登録いただきました。うち新規で登録いただいた方は261名でした。登録モニターには毎月1回、前月分の収入や支出を費目ごとにWebページに入力し、データを日本生協連へ直接送信いただいています。

新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の感染が続く中、ご参加いただいたモニターの皆さま、及びモニター募集の広報活動いただいた会員生協の皆さまに心より感謝申し上げます。

2022年は、ウィズコロナでの生活が続く中、段階的に行動制限が緩和されていきました。また、2022年2月より始まったロシアによるウクライナへの侵攻や為替変動の影響などにより、エネルギーや食品などの物価の高騰が顕著になりました。2023年も収入が上がらない中、物価の高騰が続いており、私たちの暮らしを取り巻く環境はさらに厳しさを増すことが予想されます。引き続き、「家計・くらしの調査」を通じて皆さまと共にくらしの変化を捉え、社会に発信してまいります。今後とも一層のご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

【本調査の概要】

1.集計対象

2022年1月から12月まで連続提出いただいた方のデータ 934件（有効回答）

2.2022年の特徴

コロナ禍が続く中、段階的に行動制限が緩和されました。また、2022年2月より始まったロシアによるウクライナへの侵攻や為替変動の影響などにより、エネルギーや食品などの物価の高騰が顕著になりました。

(1)収入・支出

2021年から継続するモニター世帯の収入の月額平均は628,411円で、昨年より7,669円高い結果となりました。一方、支出の月額平均は362,248円で、昨年より約18,640円増加しました。（p4～7参照）

(2)光熱費

電気・ガスをあわせた光熱費は、全ての月で前年より費用が増加しました。特に、電気料金は昨年と比較して、110～130%と大きく増加しました。（p10～11参照）

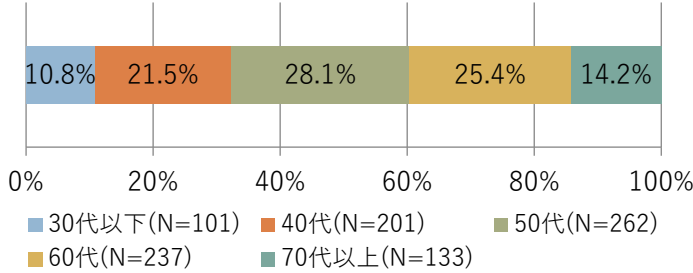
(3)登録モニターの声

モニターからのコメントが年間2,860件寄せられました。（p13～15参照）

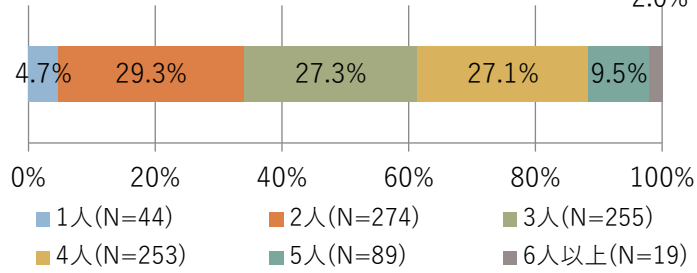
1. モニター属性

全国から20代～80代まで幅広い層にご参加頂いています（図1・7）。世帯構成は2人家族が29.3%と最も多く、3人、4人家族と続きました（図2）。世帯の主な収入は76.1%が「給与」からとなっています（図4）。住居形態は戸建（持家）の割合が67.3%と最も多く（図5）、生協の利用業態は宅配が48.0%と多くなっています（図6）。

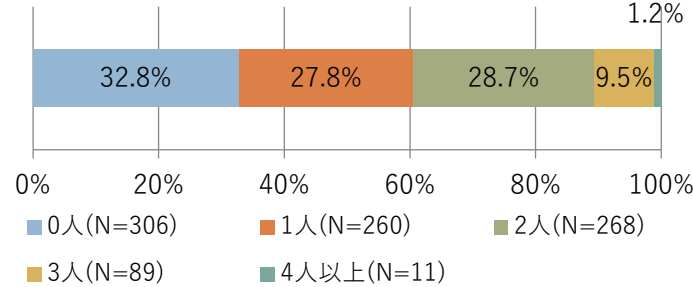
〔図1〕世帯主の年代



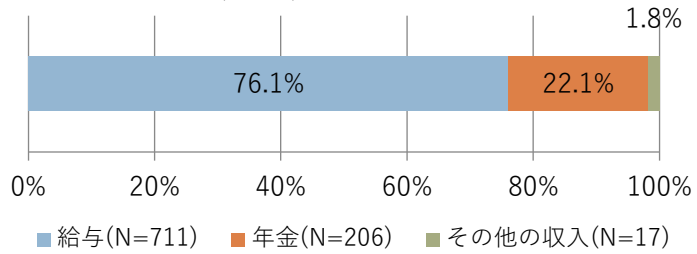
〔図2〕世帯構成



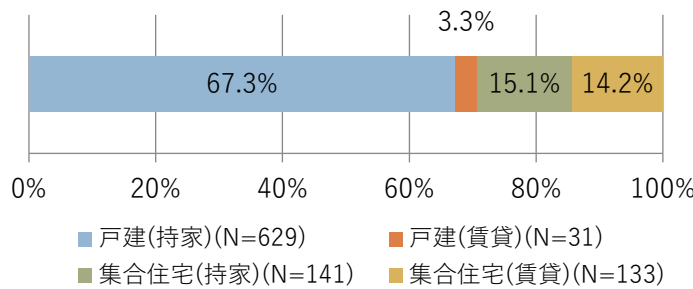
〔図3〕子どもの人数



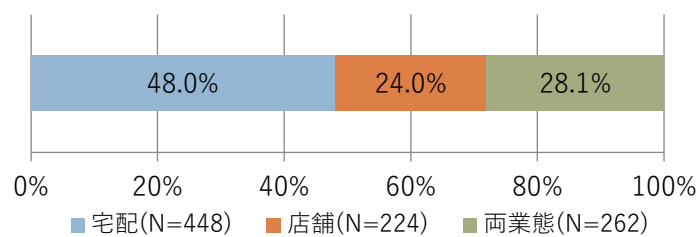
〔図4〕世帯の主な収入



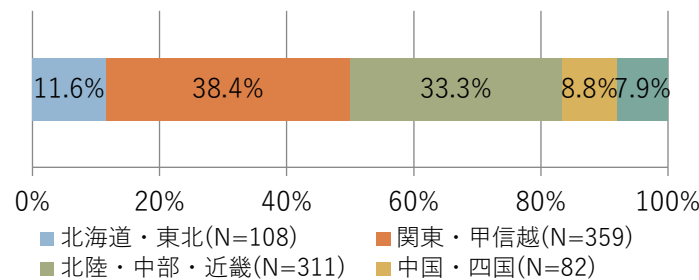
〔図5〕住居形態



〔図6〕生協の利用業態



〔図7〕地域別状況



〔表1〕都道府県別エリア一覧

北海道・東北	北海道・青森県・岩手県・秋田県・宮城県・山形県・福島県
関東・甲信越	茨城県・群馬県・栃木県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・静岡県・山梨県・長野県・新潟県
北陸・中部・近畿	富山県・石川県・福井県・愛知県・岐阜県・三重県・滋賀県・京都府・奈良県・和歌山県・大阪府・兵庫県
中国・四国	岡山県・広島県・鳥取県・島根県・山口県・香川県・徳島県・愛媛県・高知県
九州	福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県・宮崎県・鹿児島県・沖縄県

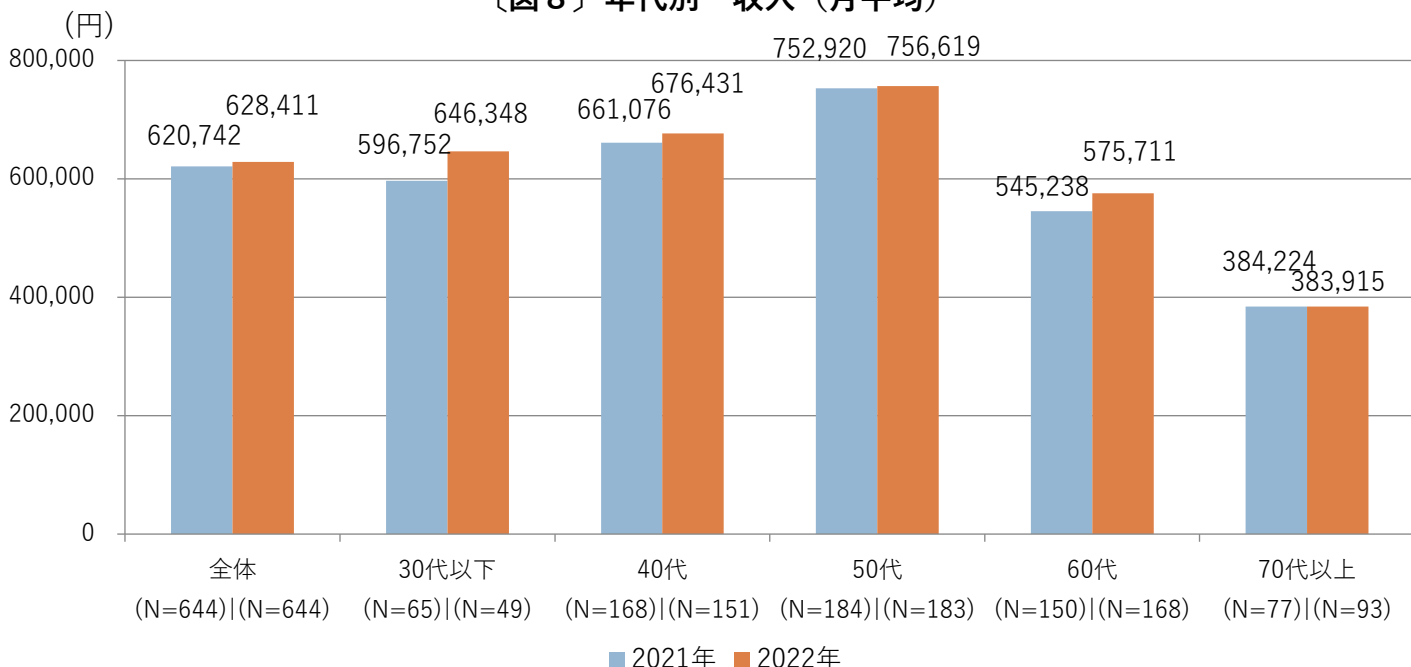
2. 収入・支出

①収入

2021年からの継続モニター(644件)の2022年の収入を2021年と比較しました(図8)。収入月額平均は628,411円で、昨年より7,669円高い結果となりました。年代別に見ると、70代以上を除いた世代で増加しています。特に、30代以下では49,596円と大きく増加しています。70代以上では、309円減少しました。収入別にみると、給与世帯において平均で前年比4~5%程度給与収入が上昇していました(表2)。

※収入月額平均は、年収を12ヵ月で割った金額です。

〔図8〕年代別 収入(月平均)



〔表2〕主な収入別 収入(月額平均)・前年比

実収入		計	給料(夫)	給料(妻)	賞与(夫)	賞与(妻)	年金(夫)	年金(妻)	その他
全体	月平均金額(円)	628,411	313,181	89,078	72,908	12,948	55,159	21,778	63,359
	前年比増減率(%)	1%	0%	2%	-2%	4%	12%	13%	-1%
給与世帯	月平均金額(円)	701,985	408,491	110,771	96,431	16,824	14,831	4,278	50,359
	前年比増減率(%)	2%	4%	5%	2%	7%	0%	-20%	-14%
年金世帯	月平均金額(円)	362,962	20,175	19,945	596	1,103	184,477	78,872	57,794
	前年比増減率(%)	-1%	-14%	15%	-62%	67%	-3%	3%	-2%

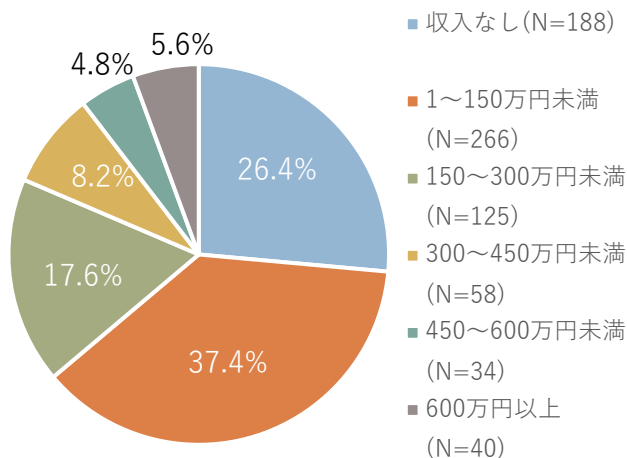
※「全体」の内訳は、「主な収入が給料の世帯(給与世帯)」「主な収入が年金の世帯(年金世帯)」「主な収入が給料・年金以外の世帯(その他)」と3世帯に分かれます。上表には、給与世帯と年金世帯のみ掲載しています。

給与世帯の妻の年収の割合は、収入なしが26.4%、150万円未満が37.4%、150万円以上が36.2%となっています（図9）。世帯年収の割合は、1,000万円以上が26.0%と最も高く、600～800万円未満24.3%、400～600万円未満21.1%続いています（図10）

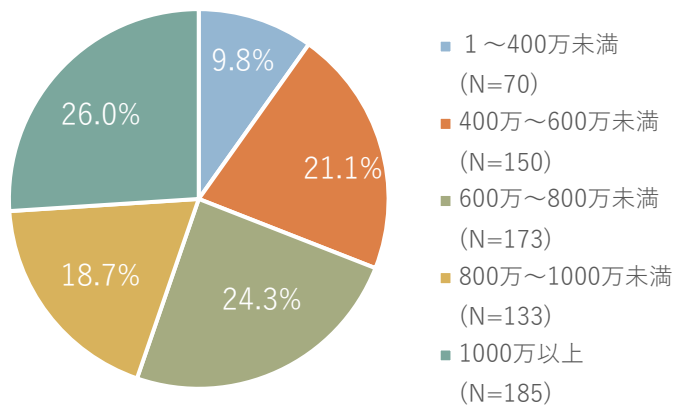
世帯収入の担い手構成を見るため、妻の年収階層別に夫の年収の平均額を見たところ、全体の平均額は765万円で、夫の平均が600万円、妻の平均が165万円でした（図11）。

なお、年金世帯など含むモニターの全世界帯年収は平均額733万円、中央値662万円です。

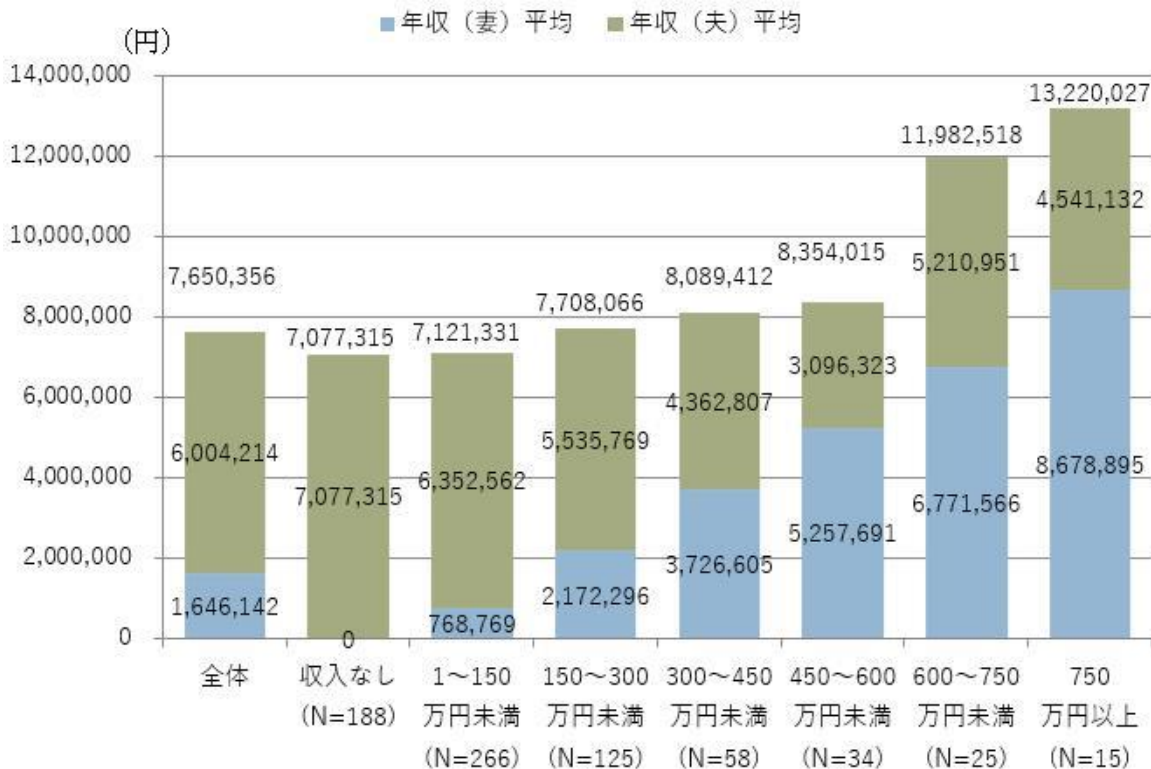
〔図9〕 給与世帯 妻の年収の割合



〔図10〕 給与世帯 世帯年収の割合

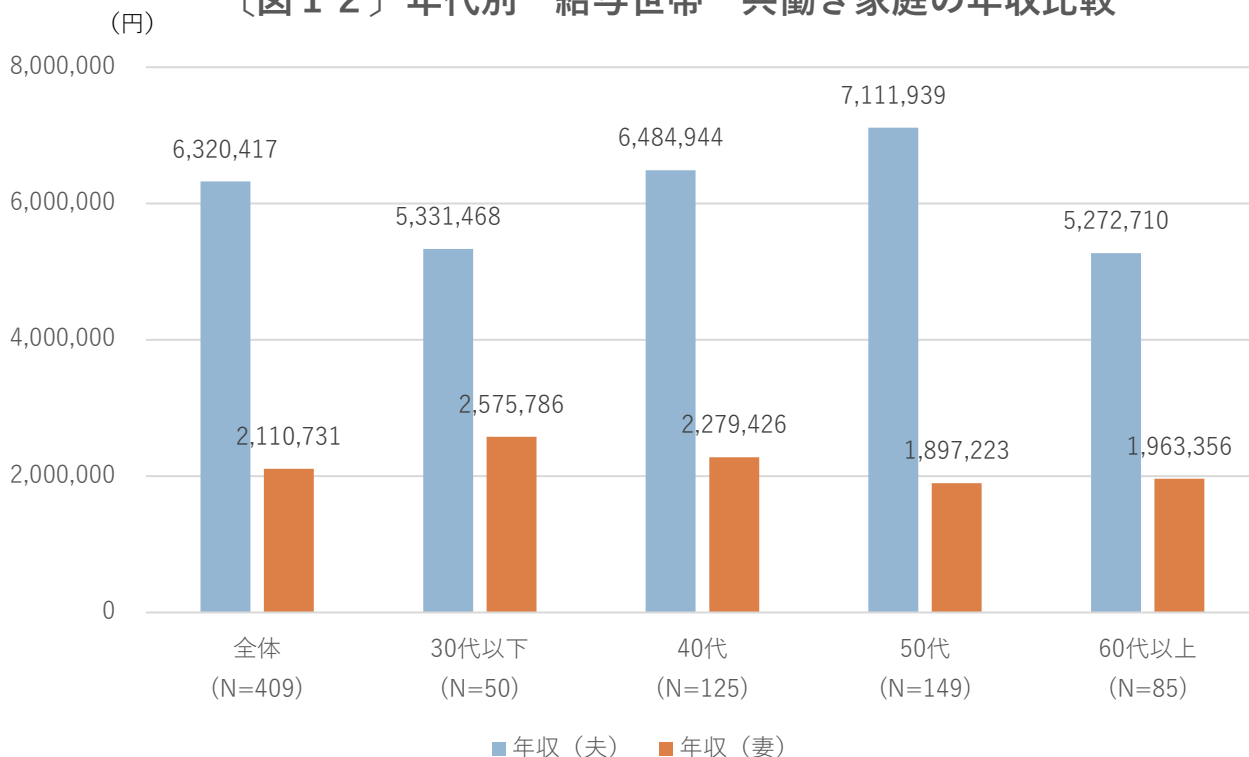


〔図11〕 給与世帯 年収(妻)別の世帯年収



給与世帯において、夫婦ともに共働き（正規雇用・非正規雇用含む、年収10万円以上）の世帯を年代別にみると、いずれの年代でも妻の年収が夫の年収の半分に満たない額となりました。夫は正規雇用が主で、妻は非正規雇用が多いことがうかがえます。また、夫は30～50代にかけて年収が増加していくのに対し、妻は30代以下の年収が最も高く50代にかけて減少しています（図12）。

〔図12〕年代別 給与世帯 共働き家庭の年収比較

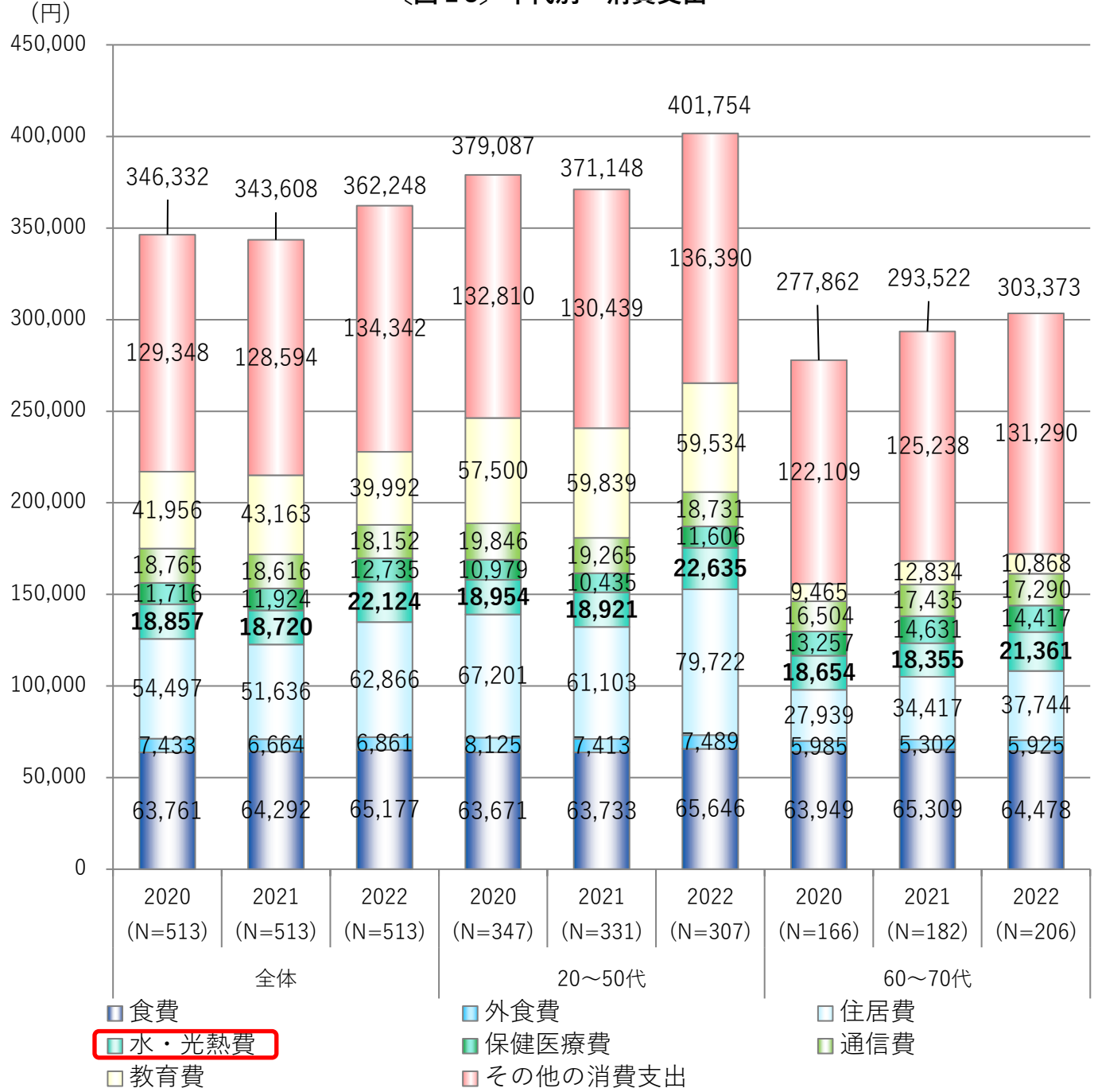


②支出

2020年からの継続モニターを対象とし、年代別に消費支出の月平均額を比較しました（図13）。2022年は362,248円（全体月平均）で、昨年より約18,640円増加しました。年代別に見ても全世代で支出が増加しており、50代以下では昨年より30,606円と大きく増加しました。

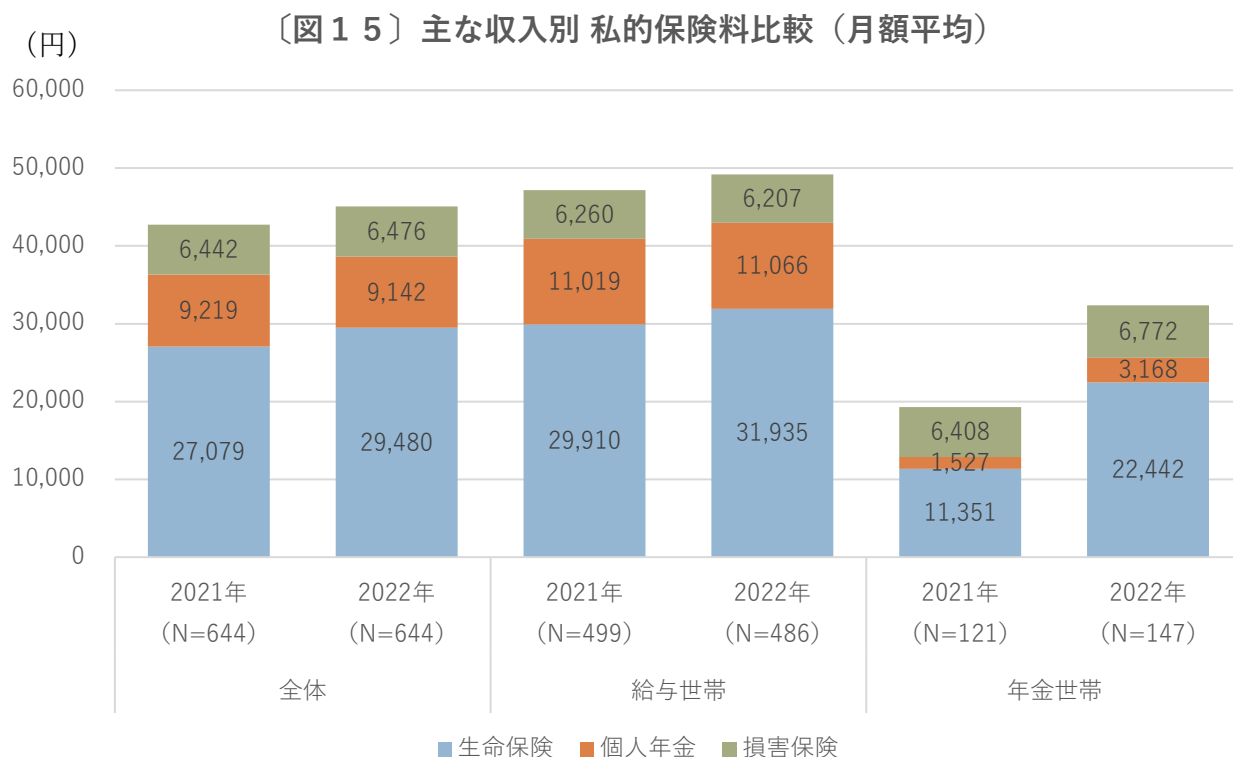
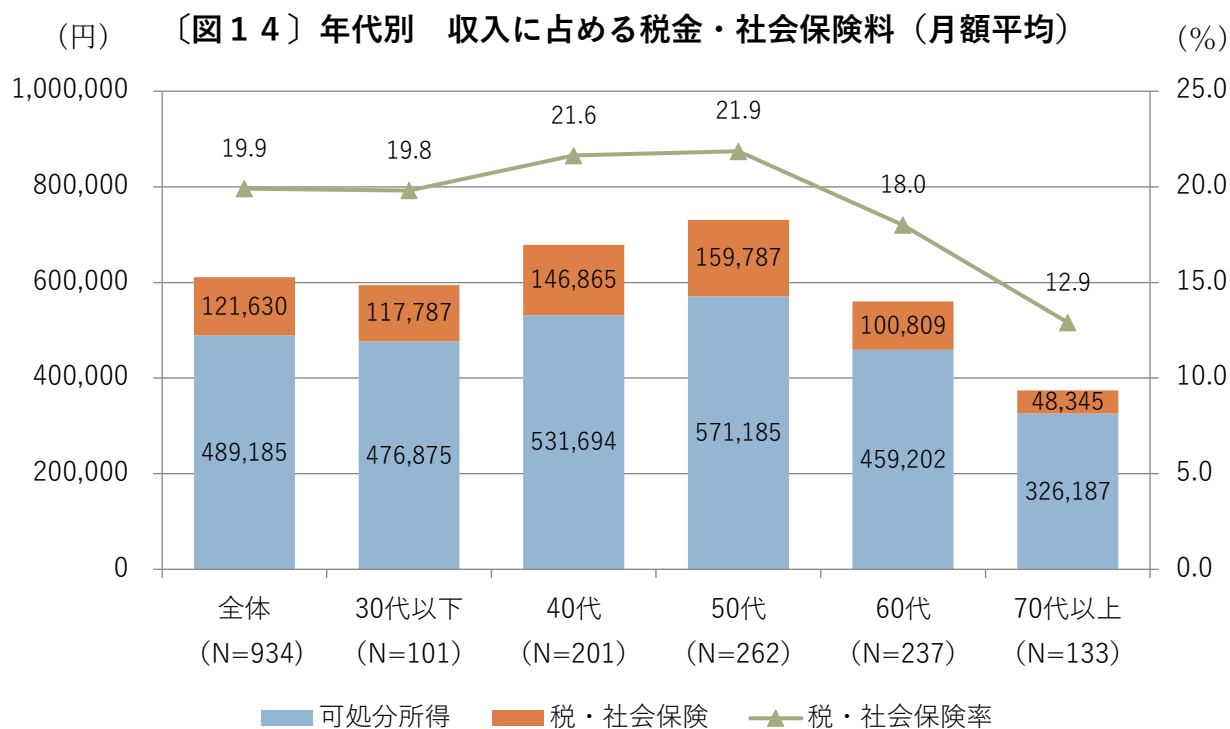
支出費目別では、全世代で「水・光熱費」をはじめ多くの項目が増加しました。一方、全世代において「教育費」が減少し、50代以下では「通信費」が減少していました。消費支出が増加する中、家計支出を調整していることがうかがえます。

〔図13〕年代別 消費支出



年代別に収入に占める税金と社会保険料（月額平均）を比較しました（図14）。金額・率共に50代が最も高くなっています。

私的保険料は、給与世帯と年金世帯で生命保険額の差が約2倍ありますが、いずれも生命保険の金額が増加しています（図15）。



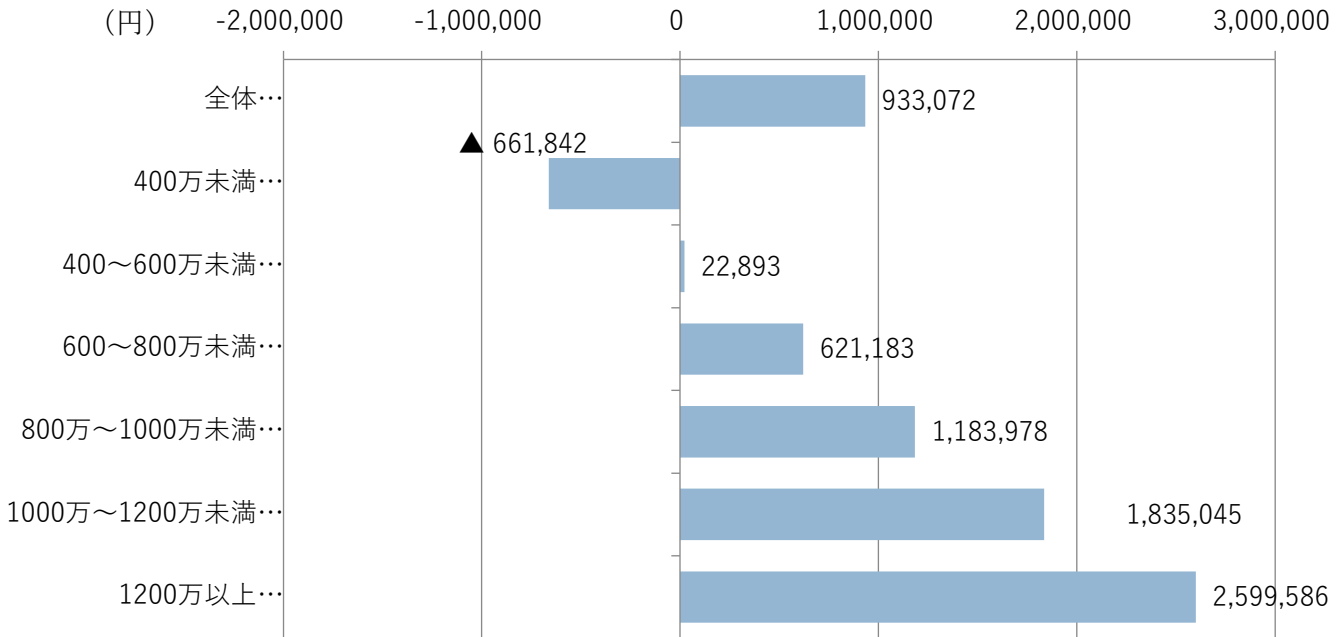
③収支

給与世帯における年間収支平均について、年収別に2021年（図16）と比較しました。

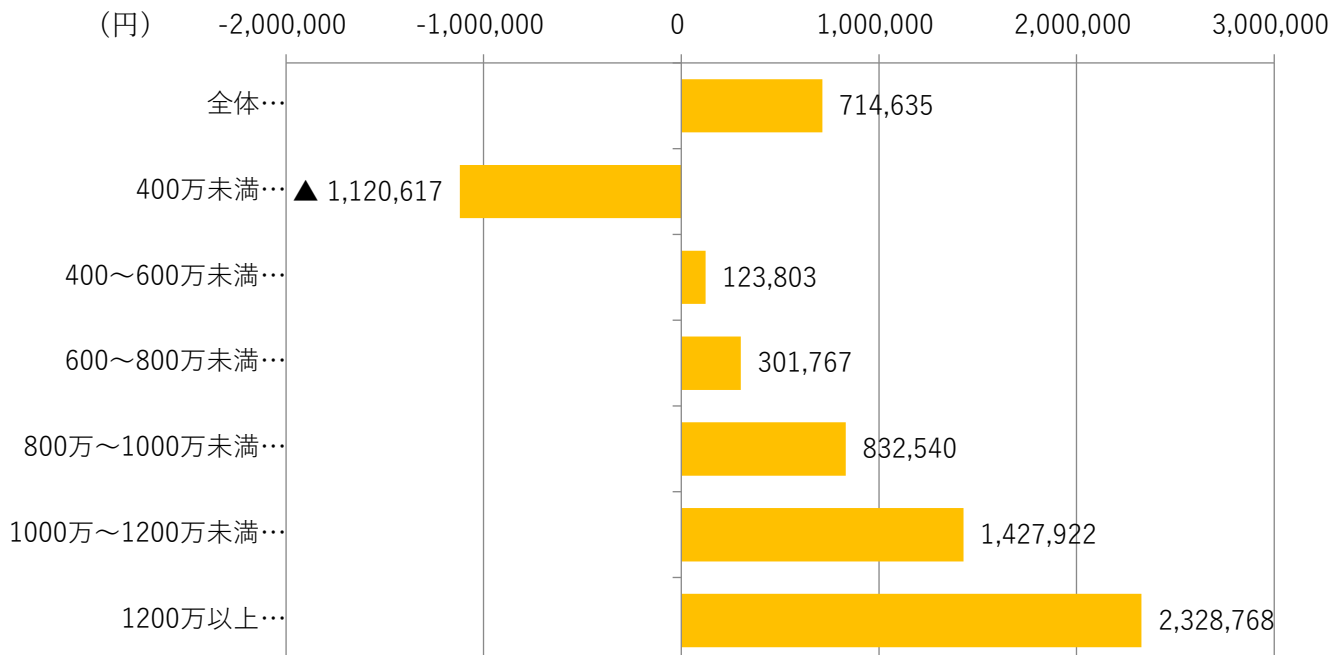
2022年の収支全体では、714,635円の黒字（図17）となっていますが、昨年よりも218,437円減少しています。年収別に見ると、400万円未満では前年と比べて赤字が増加しています。

※不動産関連の大きな収入の影響を避けるため、「その他収入」を除いています。

〔図16〕 【2021年】 年収別 年間収支（給与所得世帯）



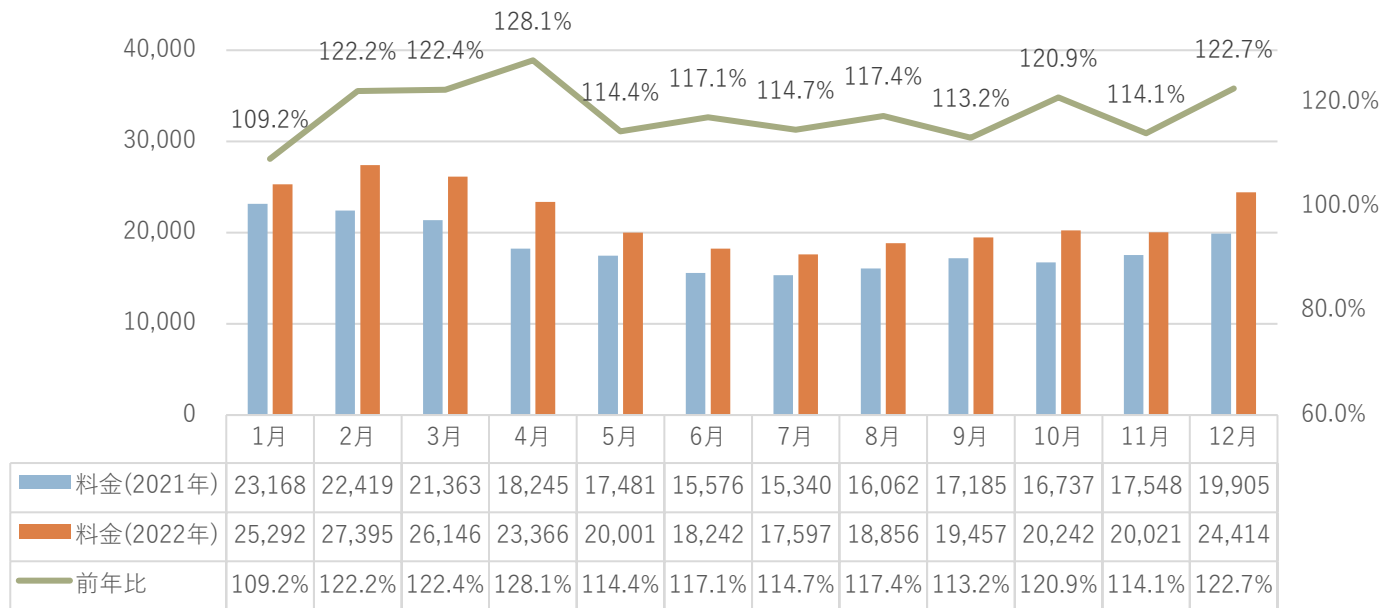
〔図17〕 【2022年】 年収別 年間収支（給与所得世帯）



3. 電気・ガスの料金

電気・ガスをあわせた光熱費を、2021年と比較しました（図18）。全ての月で前年より費用が増加しており、特に冬は顕著となっています。

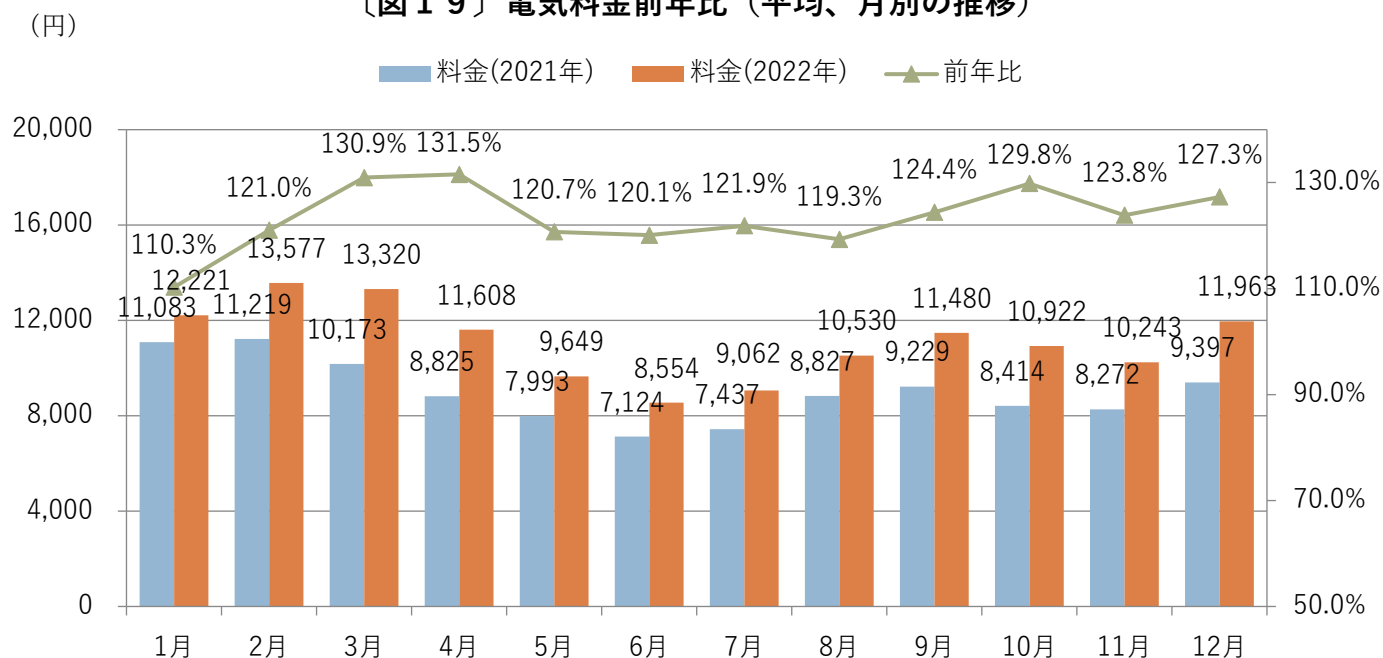
〔図18〕光熱費前年比（平均、月別の推移）



①電気

電気料金、使用量を2021年と比較しました（図19）。全ての月で光熱費全般よりも前年比率が高くなっており、ガスに比べても費用が増加しています。

〔図19〕電気料金前年比（平均、月別の推移）

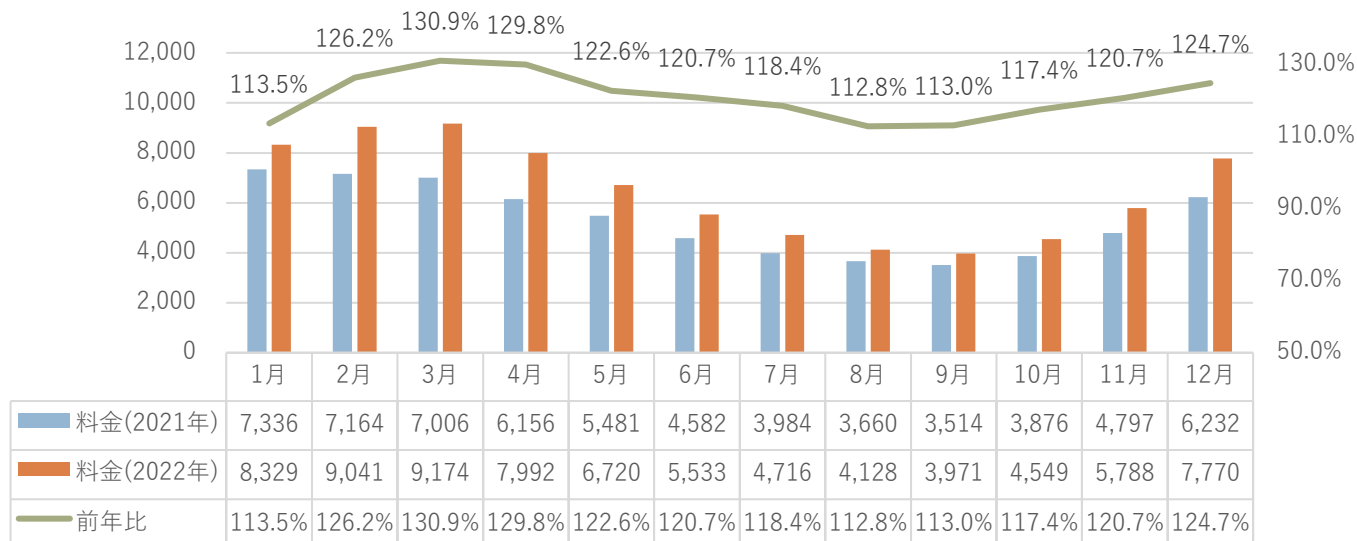


3. 電気・ガスの使用量と料金

②都市ガス

都市ガス料金を2021年と比較しました(図20)。全ての月で前年よりも費用が増加しており、上昇比率はLPガスよりも高くなっています。

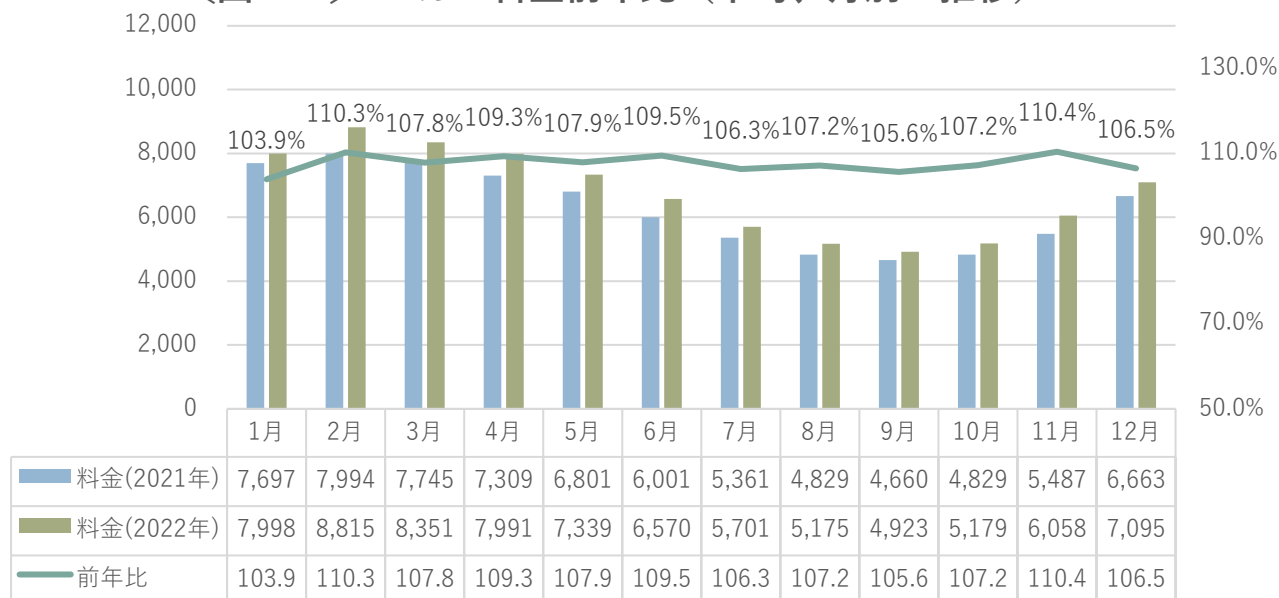
〔図20〕都市ガス料金前年比(平均、月別の推移)



③LPガス

LPガス料金を2021年と比較しました(図21)。全ての月で前年よりも高くなっていますが、電気、都市ガスよりも緩やかな傾向となっています。ただし、金額としては、都市ガスを上回っている月も多くあります。

〔図21〕LPガス料金前年比(平均、月別の推移)



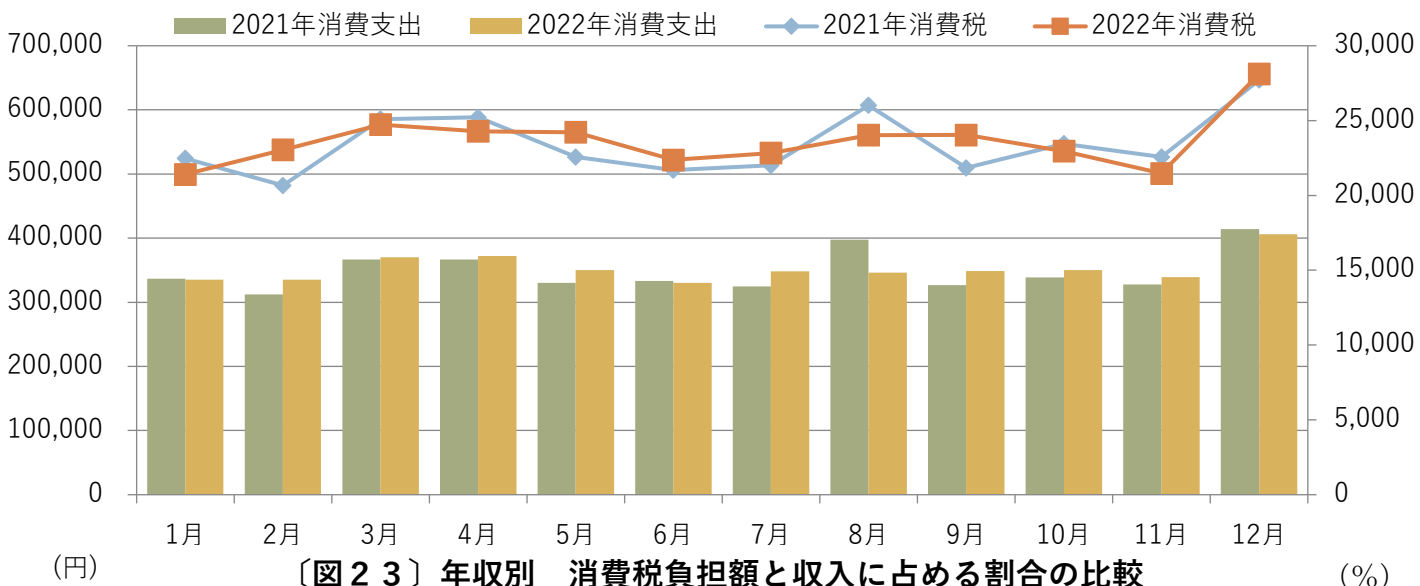
4. 消費税しらべ

【「消費税しらべ」の概要】

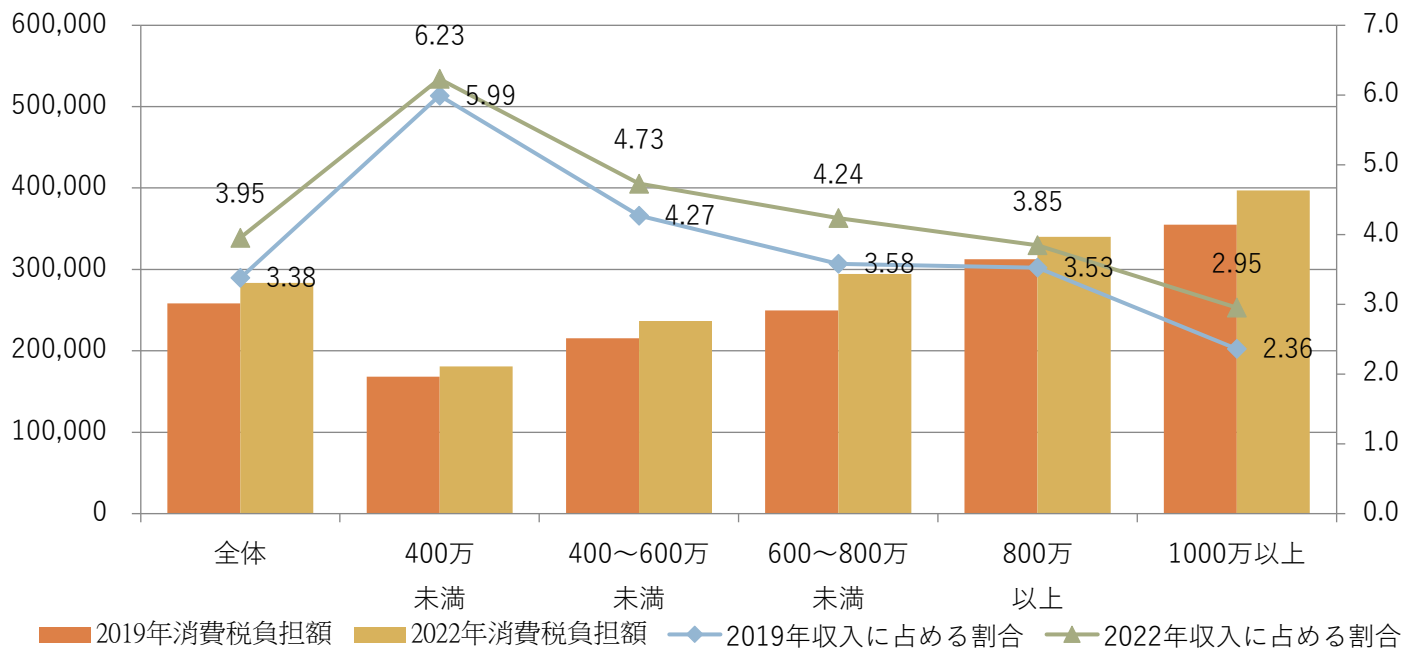
「家計・くらしの調査」と並行して、「消費税しらべ」を実施しました。本調査は「家計・くらしの調査」の参加モニターを対象に、消費支出に占める消費税の金額を毎月提出いただく任意の調査です。2022年は726名の方にご協力いただき、有効回答681件について集計しました。

昨年と同様の負担状況でしたが、わずかに増加している月がいくつかありました(図22)。消費税について収入に占める負担割合を、2019年10月の税率引き上げの影響と比較するため、2019年と2022年を比較しました。全ての年収の階層で税率が上がった分の増加が顕著にみられたほか、これまでの調査と同様、年収の階層が低い世帯ほど高くなっています(図23)。

〔図22〕月別 消費税負担額・消費支出の比較



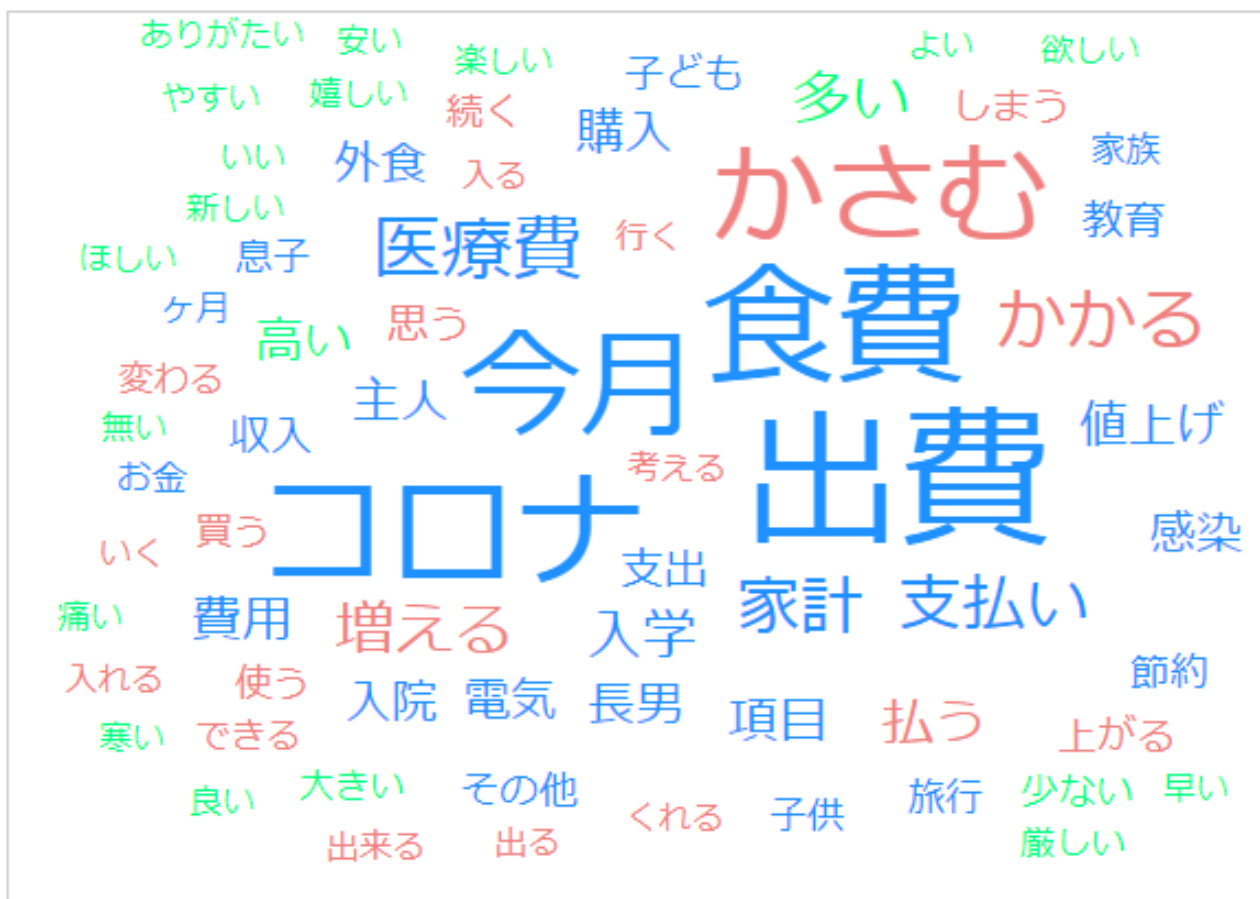
〔図23〕年収別 消費税負担額と収入に占める割合の比較



2022年モニターから届いた声

2022年にモニターから届いた声をテキストマイニングしました（図24）。「出費」「食費」「コロナ」といった言葉が多く出され、それに関連して「かさむ」「かかる」「増える」といった言葉が使われる傾向にありました。くらしに関する支出が多くかかったことがうかがえます。

〔図24〕 2022年モニターから届いた声のテキストマイニング



2022年モニターから届いた声

遠方に住む両親はコロナ感染の影響でこの2年間に在宅が増え、デイサービスも日数が減り認知症が進みました。コロナ感染者が減って来たら会いに行こうと思っていますが、少しでも接し方を勉強しようと、認知症介助士の通信教育を受講する事にしました。会える時まで資格を取れるよう頑張ります。(60代)

コロナ感染がいよいよ身近に迫ってきた。知り合いの息子さん、お孫さんなどが感染と聞く。家族は大変だし、保健所はパンク、病院は受け入れてくれない。大変な話が続々と聞かされるが、外に出ないでは済まない。旅番組を見ては、「行きたいな」「あそこ行っただなあ」と夫と話し合い、今度いつ行けるのかと思う。若いうちはいいが、だんだん年を重ねてくると、海外の旅も体力があるので、もう行けないかもわからないと悲しくなる。ロシアのウクライナ侵略は許せない。現地から伝えてくれる記者さん。どうかご無事でと思う。コロナの時期に世界中が悲しむ戦争は止めてほしい。(70代)

給与以外のモノ全て値上がりで、生き地獄です。(50代)

8歳の子どもがコロナ陽性になってしまい、家族全員10日間の自宅待機になりました…家庭内隔離に成功し、感染は子ども1人で済み、私たち夫婦と2歳の下の子は感染せずに済んだのですが本当に大変でした。普段は主にコープで買い物し、足りなくなったものをスーパーへ買い出しに行っていたのですが、家族全員3食家で食べるとなると食料もすぐなくなり。こんな時のために申し込んでおいたネットスーパーを初めて利用。でも取り扱い商品もコープより少ないし、注文も面倒だったかなとコープの良さを再確認しました。普段は嫌な学校や会社に行くことも、元気に毎日過ごせただけで本当にありがたいとだと気付きました。近所のお友達が代わって買い物に行ってくれたりして、人の優しさも感じた5月でした。(30代)

定年再雇用での生活2年目。お給料が半減したものの、住民税、厚生年金保険料などもかなり減り、高齢者再雇用給付金が給与外で社会保険料が掛らず支給されるのはありがたいです。これくらいの収支であればは推移しそうですね、しばらくストップしていた貯蓄をそろそろ再開しようかと思えます。(60代)

2月に旅行を予定していたのですが、コロナの状況でキャンセルしたので、返金があり、消費支出がおさえられています。3月末より桜が咲きました。街が一気に華やき、気持ちもウキウキ。鳥も歌い、花も咲く春。「どこか行きたいな」と、手帳片手に旅行のパンフレットを見る。コロナになって3年目。旅行を申し込んでキャンセルを何度繰り返したのか。この春、20年勤めたある団体の事務局長を退任した。20年前、ゼロからスタートした組織も何とか引継ぎができるようになり、少し肩の荷が下りた。これからは自分のための時間が取れそうです。私にとって、特別な春になった。(70代)

5月末に甥の結婚式があり、交際費が二桁になっています。昨年の予定でしたがコロナで泣く泣く一年後に延期。でもそのお陰でかわいい赤ちゃんを授かり子連れのお賑やかな結婚式となりました。結婚しない子供ばかりの我が家には羨ましい話です。(60代)

値上げ、値上げで、生活が大変です。特に電気料金の値上げです。1月から8月までの8ヶ月で、昨年より51500円高くなりました。どこかに悪代官がいるようです。(80代)

値上げの嵐で、沈没寸前です。おかずの品数は減りました。(50代)

子供たち(双子)の入学金祝いで臨時収入があったが、今後は習い事や民営の学童保育費でかなりの支出…になる予定。教育費を考えると時短もできない。(40代)

コロナがまたまた感染拡大の兆し！第7波？夏休みや盆休みで人の動きが激しくなると、コロナからの卒業はまた遠のきそう。もっと人と会っておしゃべりしたいし、外食もしたいし、旅行だって行きたいのに…。難しい投資を勧められるより、コロナ退治にみんなで頑張って消費生活を楽しめるようになる方が嬉しいな。(80代)

孫達との4年ぶりの再会。長かった。新幹線から降り立った時に思いっきり抱きしめたかった。コロナの事もありグーと押さえた。孫達の大きな成長を真近に見えた。眩しいくらいに大きくなっていった。久しぶりの家族の再会に財布の紐は緩みっぱなしです。でも良いんです。生きているからこそ出来るんですから。(60代)

国からの支援金で、愛用の自転車を買替えました。快適なので止めようと思っていた畑仕事を再開して、夏野菜はもちろんキャベツ・エンドウ・ソラマメ・さつま芋・赤かぶやグラジオラス・百日草・朝顔など、おお忙しです。40分かけて築百年の備前の典型的な日本家屋迄でかけます。皆さんに大事にしてねと言われますが、週一の掃除や草取り・庭木の見回りと結構大変ですが、コロナ禍の日常の気分転換にはもってこい、ふかふかの畑からとれる野菜の味の良さ、皆さんへのお裾分けも大人気でうれしい健康法です。昨日は家の主の蛇さんが健在だとわかり、また孫へ童話風便りにして届けるのが楽しみです。(80代)

そんなに電気の使用量は増えてないと思うのに、最近電気代が高くなっているように思います。原油価格が高騰しているからでしょうか。ウクライナの戦争が心配で、国連UNHCR協会とCO・OPを通してそれぞれ寄付をしました。とにかく早く戦争が終わってほしいです。(50代)

コロナ感染者が減ってきたので、地方の両親に会いに行きました。主人と奈良に住む娘も集合するのは約5年振り。外食したり、お弁当をテイクアウトし、美味しいねーとお喋りしながら食べていたら、母だけが「不味い！これ何？あー不味い!!」と言い続けていました。味覚も変になって来たのか、普段食べているもの以外は不味く感じるようです。冷蔵庫の中には傷んだ野菜が入っているし、詰替え用シャンプーも容器に詰め替える事が解らずそのまま使っていました。時々掛ける電話では分かりませんが、半年前に会いに行った時より認知症は進んでいる現実を見てちょっとショックを受けました。でも、父も母も子を思う優しさは変わっていませんでした。(60代)

夫のボーナス(手取り)が年々減り、溜まった支払いができるかできないかヒヤヒヤします。子どもの運動会後、本当に久しぶりに外食をしたのがとても楽しかった。(40代)

コロナが落ち着いてきたので、旅行に2回(立山と北海道)行ってきました。どちらもワクチン3回接種がツアーの参加条件でした。最近、罹患者が増え始め、主人は4回目の接種へ。また旅行に行きたいようです。(60代)

2022年モニターから届いた声

夫が月の半ばで後期高齢者になりました。10月からは医療費の負担は2割のままになります。1割で過ごせるのは、わずかに2週間。その間にできる限り！と歯医者、皮膚科、循環器科と回れるだけのお医者さんを回りました。笑える二週間の節約でした。10月からの値上げを見込んでのお酒や調味料の買いだめにも奔走しました。どうしたらこの先の物価に対応して暮らせるか、年金が減り続ける心配です。(70代)

夏にコロナになった分の保険金が入金されました。子どもたちは夏休み少ししか外で遊べなかったもので、振替休日を利用してレゴランドに行きました。ちょうど全国旅行支援が始まるとの噂で期待していましたが、ギリギリ期間が当てはまらず割引なしでした。でも親子ともにとっても楽しめたので良かったです。(30代)

物価の上昇、光熱費の高騰に加え、予測不能な教育費の支出でなかなか安定した家計管理が出来ず、頭を悩ませています。子育て計画が終盤に大きく変更(大学院進学、ダブルスクールなど)が出て、自分達の老後問題にも怪しい影がさしてきました。が、言ってみても仕方がないので、食費を中心に削れるところを要再考。電気代の上がり具合にも頭を悩ませます。(60代)

うーん、食品も日用品も水光熱費も、日に日に上がっている。上がり続けている。貧乏世帯はもともと必要不可欠な物しか買わないし、それも普段から節約を心掛けている。これ以上減らすには、食べ物を減らすとかトイレットペーパーを減らすとか、そういう話になる。難病患者だけど、もう医療費を削るしかないのか。(50代)

ガソリン代が高いので、なかなか満タンにすることができず、数千円分ずつちょこちょこ入れている。(40代)

4月から自治会役員が回ってきました。引越して27年三回目の役員、今回は主人が主体にしてもらおう事にしました。今まで2回は私がやってきましたが、定年後の自治会へのかかわりも大事ですし、男性の参加も最近が多いので、いやいやですが引き受けてくれました。ここの2年程コロナで、ほぼ活動していなかった自治会の活動も新たな形で動き出して大変そうです。が適度にフォローしながら見守りたいと思っています。(60代)

今年から米作りを止めたので、近所の農家から1年分の米を120キロまとめて買いました。とてもこれでは足りないのですが、昨年分のが余っているの、ある予定です。

電気代の値上げがすごい。先月より44kWhも少ないのにわずか50円しか安くはない！今月よりまた値上げの品目が多い。私の年金は下がったのに。国葬や軍事費に使っている場合じゃない！せめて消費税下げてほしい！(70代)

子供3人の歯科矯正を始めました。1人30万円かかります。出費が激しい。(30代)

台風14号は予想より風が強くて停電17時間。不便でした。道を挟んだ向かい側は点いているし、隣の町は直ぐに点いたようで、ピンポイントで停電区域に当たりました。

冷蔵・冷凍品が心配で、冷蔵庫は必要最低限の開閉、冷凍庫は一度も開けずに、停電解消後、恐る恐る冷凍庫の肉・魚類を触ると半解凍状態。冷凍食品とアイスは触らずに翌日にアイスを開封してみたら、綺麗なままで凍っていました。溶けてしまって、その状態で凍ると想像していたのでちょっと驚きでした。料理するのも不便で時間もかかり、洗濯も出来ないし、本当に電気の有難さを実感しました。(60代)

今月は、義兄の入院に関わる諸々の用事に振り回された月であった。高齢夫婦だけの暮らしは、介護サービスを受けていても限界があり、どこまで自立できるか、生活のどの部分の助けが必要なのかを周囲の者が見極めることが大事なポイントとなってくる。他人事ではなく、やがてわが身にも訪れることとして日頃から覚悟と想像力が必要だと思う。日々の生活の積み重ねが老後に体現されるのである。(70代)

3月の乳がん手術、入院に引き続き、4月は放射線治療に毎日通いました。3割負担で1回8000円弱、全20回なので高額療養費制度が適用になり、9万ほどの支払いでした。

日本人は保険が好きで、みな何らかの保険に加入していると思いますが、公的保険だけでも大丈夫なのかな？と実感しました。(50代)

8月から新しい職場で働き始めたので収入が増えました。子供の塾の費用が夏期講習代を含め17万になり稼げども稼げども持っていけます。(40代)

献体をした大学から母の遺骨がやっと返されました。一年半待ちました。コロナの為に今年も感謝式は中止。迎える人数制限があり、なので私一人で大学へ向かい、お骨と文部科学大臣からの感謝状をいただけてきました。夫と娘たちにメール報告すると、返信は「お帰りなさい」でした。骨は伊勢湾に散骨したいと考えています。東海地震がおきれば海に近い町です。津波が想定されます。でも、初日を迎えたり、休日に浜散歩したり、海にとっても親しみがあり散骨は母を身近に感じられるのです。母は献体に対して役に立ちたいと言う思いも有りますが、私の事を思い決めた様です。私はここ海の町で老いていきます。お母さん見守ってくださいね。(50代)

県と市から光熱費高騰対策として子育て世帯に3万円の補助金が出ました。夏に新電力に変えたばかりですが、燃料費調整額に上限のある中部電力のプランに戻そうか悩んでいます。(30代)

これまで1割負担だった子どもの医療費が、来月から中学卒業まで無料に。歯科、眼科、小児科と、1割と言えど毎月じわじわと医療費がかかっていたのでとても助かります。(40代)

長男が中学受験をし、無事に志望校への合格を決めました。約3年間塾での勉強を頑張った、なかなか大変な時期を親子ともに乗り越えましたが、その分合格を手にした喜びは親子ともにひとしおでした。早速入学金20万、体操服等の用品代、副教材代を支払いました。制服代は後日支払いです。小学校から公立中学の制服の案内も届き、拝見しましたが、どちらにしても制服や学校指定の体操服って高いですね。確かに長期にわたって着るものではありませんが、制服で家計が圧迫されるのも困りものです。何とか改善はされないものでしょうか？長男は合格後、今まで我慢していたゲームやおもちゃを満喫中。この現実、分かってくれているのかなあ？(40代)

当初9月末までだったマイナポイント第二弾の申請を家族全員分行いました。(義母の分もお手伝いしました！) 育児中で無給の身、何か家計のためにプラスになることがあるならやらなくては。でもアプリを使ってとても簡単でした。来春の保育園申し込みにも、今年からマイナンバーカードが必要になったので作っておいてよかったなと思いました。(30代)

5. 集計表 (総平均)

	30代以下	40代	50代	60代	70代以上
給料 (夫)	338,702	403,759	423,849	235,293	22,910
給料 (妻)	106,466	123,411	107,915	84,951	18,264
賞与 (夫)	83,922	96,576	105,422	30,045	929
賞与 (妻)	24,152	24,161	13,588	7,451	2,658
年金 (夫)	465	16	1,835	83,232	170,307
年金 (妻)	3,463	249	3,828	21,928	81,874
年金 私的(夫)	4	0	5,301	16,040	14,436
年金 私的(妻)	0	0	2,362	5,771	10,024
その他の収入	37,488	30,388	66,872	75,301	53,131
収入計	594,662	678,559	730,972	560,010	374,533
所得税 (夫)	15,852	20,449	27,130	13,607	2,264
所得税 (妻)	3,609	3,708	2,740	1,403	497
住民税 (夫)	16,445	19,858	25,250	14,803	4,799
住民税 (妻)	3,461	4,294	3,515	3,092	1,082
その他の税金	4,758	6,687	8,808	10,798	11,125
税金計	44,126	54,995	67,443	43,702	19,767
健康保険 (夫)	20,199	27,462	28,986	20,825	18,708
健康保険 (妻)	5,122	6,995	5,581	5,581	7,588
厚生年金 (夫)	36,549	42,135	43,218	20,552	429
厚生年金 (妻)	9,269	11,057	8,436	5,655	890
雇用保険 (夫)	1,343	1,442	1,579	688	36
雇用保険 (妻)	327	331	203	224	54
国民年金 (夫)	556	1,092	556	575	16
国民年金 (妻)	296	627	744	1,704	0
国民年金 (子)	0	728	3,042	1,302	857
社会保険料計	73,661	91,870	92,344	57,106	28,579
生命保険	30,869	31,916	33,270	24,194	20,662
損害保険	5,043	5,337	7,034	7,103	6,497
個人年金ほか	7,423	11,631	11,989	6,621	2,247
私的保険料計	43,335	48,884	52,292	37,918	29,407
食費	57,085	62,126	63,310	61,691	63,103
外食費	8,009	7,545	7,710	6,526	4,318
デリバリー・テイクアウト費	3,399	3,631	2,330	2,254	1,103
日用品費	14,968	14,013	12,329	10,330	8,204
住居費	73,190	76,743	52,585	39,239	10,117
住居費(上記以外)	14,767	16,749	19,545	39,901	22,881
住居費(計)	87,957	93,493	72,130	79,141	32,998
電気	10,944	11,890	11,332	10,655	10,320
ガス	4,599	4,662	5,434	4,953	4,347
水道	4,868	5,066	4,721	4,311	3,903
水・光熱費その他	592	1,217	985	1,518	1,258
水・光熱費(計)	21,004	22,835	22,472	21,438	19,828
趣味・娯楽費	15,485	17,925	26,261	27,010	21,582
交際費	6,291	7,938	15,516	22,156	30,531
衣服・美容費	12,331	14,933	17,135	14,802	10,460
保険医療費	12,946	10,972	11,221	15,299	12,698
通信費	13,407	18,169	19,040	18,405	13,814
教育費	27,878	64,875	61,610	18,109	1,348
自動車費	20,641	24,298	33,479	33,917	13,778
その他の消費支出	35,908	39,893	44,337	40,564	32,991
消費支出計	337,309	402,644	408,878	371,641	266,757

7. 調査票

家計・くらしの調査 ◆12月分◆

こちらは「家計・くらしの調査」の調査票のページです。
 費目をご入力の上、「確認画面へ」ボタンを押してください。
入力の締め切りは1月20日です。
 ※収入・支出が発生しなかった費目については「0」をご入力ください。
 ※*は必須項目です。
 ※入力に困った時は『マニュアル』、または『費目内容一覧』をご参照ください！
[○「家計・くらしの調査」マニュアル](#) ←こちらをクリック
[○「家計・くらしの調査」費目内容一覧](#) ←こちらをクリック

収入		
給料	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
賞与	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
年金(公的)	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
年金(私的)	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
その他の収入*		<input type="text"/> 円
収入計		0円

税金(直接税)		
所得税	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
住民税	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
その他の税金*		<input type="text"/> 円
税金(直接税)計		0円

社会保険料		
健康保険 ※介護保険も含む	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
厚生年金	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
雇用保険	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
国民年金	夫*	<input type="text"/> 円
	妻*	<input type="text"/> 円
	子*	<input type="text"/> 円
社会保険料計		0円

私的保険料		
生命保険* ※定期保険、養老保険、終身保険、医療保険、がん保険、学資保険など		<input type="text"/> 円
損害保険* ※CO・OP火災共済、火災保険、自動車保険、旅行保険など		<input type="text"/> 円
個人年金ほか*		<input type="text"/> 円
私的保険料計		0円

消費支出		
食費* ※外食を除く、惣菜を含む		<input type="text"/> 円
外食費*		<input type="text"/> 円
デリバリー・テイクアウト費*		<input type="text"/> 円
日用品費*		<input type="text"/> 円
住居費*	家賃・住宅ローン* ※管理費/修繕費(定額)含む	<input type="text"/> 円
	上記以外* ※家具・家電、リフォームなど	<input type="text"/> 円
水・光熱費*	電気*	<input type="text"/> 円
	ガス*	<input type="text"/> 円
	水道*	<input type="text"/> 円
	その他*	<input type="text"/> 円
趣味・娯楽費*		<input type="text"/> 円
交際費*		<input type="text"/> 円
衣服・美容費*		<input type="text"/> 円
保健医療費*		<input type="text"/> 円
通信費*		<input type="text"/> 円
教育費*		<input type="text"/> 円
自動車費*		<input type="text"/> 円
その他の消費支出*		<input type="text"/> 円
消費支出計		0円

◆貯蓄・投資に回した金額があれば教えてください。ない場合は「0」とご入力ください。

貯蓄・投資	
貯蓄・投資額* ※財形貯蓄、NISA積み立てなど	<input type="text"/> 円

今月の家計についてひとこと	
※1つの項目で100万円を超える大きな支出があった場合は、その用途を具体的に記入願います。	<input style="width: 100%; height: 40px;" type="text"/>

消費税しらべ(任意回答)	
◆こちらは「家計・くらしの調査」とは別の調査で、任意回答です。	
◆以下の方法で金額を算出し、「消費税額」の欄に記入してください。 ・消費支出から消費税が課税/非課税となる支出で分ける ・消費税がかかる品目から、軽減税率対象の品目(A)と、非対象の品目(B)に分けて支出金額を集計 ・(Aの支出金額合計 ÷ 108) × 8 = Aの消費税額 ・(Bの支出金額合計 ÷ 110) × 10 = Bの消費税額 ・Aの消費税額 + Bの消費税額 = 消費税額 ※小数点は入力できないため、四捨五入して整数でご回答ください。 ※詳細は「手引き」の16ページを参照ください。	
◆「消費税しらべ」に12か月連続でご協力いただいた方には、別途500円の図書カードをプレゼントいたします。	
消費税額	<input type="text"/> 円

確認画面へ